



むかしむかし ある時 中国の船が田結の海辺に押し流されてきた。

水がひいた時 船は土や泥をかぶってとり残され いつしか村人は船山と言うようになった。



「おい 聞いとるか。あの船山を掘るとお宝が出るっていうことを。」

「ウーン そうじゃな ナンバンの宝をぎょうさん積んでおったというからの一」

人から人へ うわさが伝わり始めた。

ある日のこと 田植えをしている村人たちが

「船山を掘ると ナンバンのギヤマンの茶わんが出るそうな。」

「ホンマけえ わしゃ 知らなんだなア」

「ええのを わしも ほしいなアー」

「うらも ほしいでよ」



「ふなやまのたから」

田結の民話



その話を ドロボウがこっそり聞いていた。  
「へへへ シメシメ これはええ話を聞いた  
わい。さっそくいって 掘ってみよう。  
これはええもうけをするでえ。」

ドロボウが掘ってみると うわさどおり  
ギヤマンの茶わんが出てきた。

「あった！ これは美せいなア キンキラ  
キンやがな もうけたわい。これはめずらし  
いもんやけ ええ値がつくでえ。」

喜んだドロボウは あわてて茶わんを フ  
ロシキ包みにつめこみ 山を越え 一目さ  
んに逃げ出した。



しばらく行くと 急におなかがいたくなりだし  
た。

「ウー イタタ、ウー イタタ。腹がいてえー  
ウー イタタ。なんでやろうな？  
ウー イタタ……。」

「返してくれー返してくれー 大事な茶わん  
を返してくれー」

「茶わんを返すから腹いたなおしてくれー」



「ふなやまのたから」

田結の民話



ドロボウはもと来た道を引返し 茶わんを返すと ウソのように腹いたがおさまり 一目散に逃げ出した。

ゴシゴシ チャリーンと ギヤマンの茶わんを洗う音が 船山から聞こえてくるようになったそう。

ギヤマンの茶わんが 船山に今も残っているそう。



「ふなやまのたから」

田結の民話